

妙智會

11月14日 秋の大法要
聖地 大道場（ライブ配信）
宮本法嗣先生ご指導

Vol. 114
2023. 11. 20
1/2

本日は皆さまの念願のおかげさまで、暖かく、雲一つない天候をいただき、心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。

順序はいただけるということを実感しております。

今日は平和を祈願する日でもあります、世界を見渡すと紛争や戦争は未だ絶えず、たくさんの小さな子どもたちが亡くなっています。

私たちが今やるべき大切なことは、この大きな目に見えないものを解決することだと思います。

そのためには、まず今の紛争や戦争の終結を願うことです。

会主さまは「女だけれども、世のため人のため土台となる」と宣言し、妙智會を開教されました。今だからこそ、その世界平和への思いを一人一人がしっかりと持たなければなりません。

本日、祥月命日を迎えられました大恩師さまは『忍善』の精神を大切にしていっていただきました。分かりやすく言いますと、忍耐ということですが。

大導師さまが、大恩師さまのこの祥月命日を平和祈願にされたのは、大恩師さまの『忍善』の精神こそが平和を実現するための一番大事な教えだということを、私たちに教えて下さっております。

この『忍善』が平和に繋がる意味というのは、大恩師さまも会主さまも大導師さまも「私たち一人一人が持っているものを取らないと平和は来ないのです」とおっしゃっております。

私たちは日々、感情で生きています。自分の思い通りにならないと腹が立ち、考え通りにならないとつまらないと思ってしまう。そういうものを私たち人間は持っていて、それが集まっていくと、

紛争や戦争が起きると、ご指導をいただきました。

妙智會に入っている私たちは、そのことを十二分に理解しているとは思いますが、自分の持っている感情に負けてしまうのが私たちです。

しかし、それを承知で大恩師さまも会主さまも大導師さまも『忍善』とおっしゃってくださいています。

私たち人間は、感情過多になっていると視野が狭くなり、周りが見えなくなります。この見えなくなる、というのは社会的なこと、それ以上に怖いのは霊界が見えなくなってしまうことです。

お三方からご指導いただいていたのは、感情的になったときは心の中でも良いからお題目を唱えなさい、ということでした。お題目を唱えると、少しずつ落ち着き、動きが変わります。

自分の感情をうまくコントロールしていくことで『忍善』の修行ができますから、ぜひ皆さん実践してください。

自分が良かれと思ってやっていることのほとんどは、自分本位であるということ。それよりも相手を思い、菩提心を起こしていただけるようお経をしっかりと上げて、先祖を供養し、先祖からのお慈悲をいただけてください。

今日という日は、私たちが『忍善』ということをしっかりと受け止め、ご修行させていただくことを誓う日だと思ってください。

感情という自分中心に考えているものは抑えていただき、それでも人間は弱いですから、出てしまった時にはお題目を唱えてください。続けることで少しずつ変わっていきますので、今日から実践していただければと思います。本日はありがとうございました。